

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2022年3月10日まで（2010年11月15日設定）
運用方針	安定したインカムゲインの確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	主要先進国通貨建の国際機関債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主要先進国通貨建の国際機関債を主要投資対象とします。</li> <li>・ 流動性、投資環境等を考慮し、一部、主要先進国の自国通貨建の国債に投資する場合があります。</li> <li>・ 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。</li> <li>・ 各通貨の組入比率は、「参照金利」や「債券市場の流動性」等を基に決定します。</li> </ul>
主な組入制限	外貨建資産への投資は、制限を設けません。
分配方針	毎月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。）

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

### 国際機関債オープン （為替ヘッジあり）



第109期（決算日：2019年12月10日）  
 第110期（決算日：2020年1月10日）  
 第111期（決算日：2020年2月10日）  
 第112期（決算日：2020年3月10日）  
 第113期（決算日：2020年4月10日）  
 第114期（決算日：2020年5月11日）



#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「国際機関債オープン（為替ヘッジあり）」は、去る5月11日に第114期の決算を行いましたので、法令に基づいて第109期～第114期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



### 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) ブルームバーグ・バークレイズ・ グローバル総合： 国際機関債インデックス (円ヘッジベース)	債 組 入 比 率	券 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	み 金 騰 落					
85期(2017年12月11日)	円 8,990	円 20	% 0.2	162.93	% 0.4	% 90.4	% —	百万円 12,716
86期(2018年1月10日)	8,909	15	△0.7	161.42	△0.9	95.3	—	13,290
87期(2018年2月13日)	8,786	15	△1.2	159.76	△1.0	90.7	—	12,997
88期(2018年3月12日)	8,818	15	0.5	160.32	0.4	96.7	—	12,535
89期(2018年4月10日)	8,848	15	0.5	161.29	0.6	92.7	—	12,317
90期(2018年5月10日)	8,813	15	△0.2	160.73	△0.3	90.2	—	12,184
91期(2018年6月11日)	8,786	15	△0.1	160.23	△0.3	90.7	—	12,133
92期(2018年7月10日)	8,809	15	0.4	161.30	0.7	91.6	—	11,939
93期(2018年8月10日)	8,786	15	△0.1	161.69	0.2	92.1	—	11,854
94期(2018年9月10日)	8,780	15	0.1	161.20	△0.3	91.5	—	11,748
95期(2018年10月10日)	8,693	15	△0.8	159.83	△0.8	93.7	—	11,553
96期(2018年11月12日)	8,711	15	0.4	160.66	0.5	91.7	—	11,347
97期(2018年12月10日)	8,760	15	0.7	161.73	0.7	95.0	—	11,298
98期(2019年1月10日)	8,758	15	0.1	161.83	0.1	91.6	—	11,163
99期(2019年2月12日)	8,833	15	1.0	163.28	0.9	96.9	—	11,161
100期(2019年3月11日)	8,866	15	0.5	164.18	0.5	96.0	—	10,934
101期(2019年4月10日)	8,876	15	0.3	165.21	0.6	95.8	—	11,051
102期(2019年5月10日)	8,904	10	0.4	165.50	0.2	94.2	—	11,073
103期(2019年6月10日)	9,008	10	1.3	167.44	1.2	94.3	—	11,150
104期(2019年7月10日)	9,042	10	0.5	168.93	0.9	93.7	—	11,251
105期(2019年8月13日)	9,159	10	1.4	172.44	2.1	94.1	—	11,360
106期(2019年9月10日)	9,141	10	△0.1	171.77	△0.4	96.1	—	11,353
107期(2019年10月10日)	9,124	10	△0.1	171.76	△0.0	96.7	—	11,094
108期(2019年11月11日)	8,945	10	△1.9	169.27	△1.4	95.4	—	10,835
109期(2019年12月10日)	8,947	10	0.1	169.59	0.2	95.9	—	10,776
110期(2020年1月10日)	8,910	10	△0.3	169.32	△0.2	97.9	—	10,648
111期(2020年2月10日)	8,999	10	1.1	171.53	1.3	97.0	—	10,539
112期(2020年3月10日)	9,202	10	2.4	175.50	2.3	94.5	—	10,269
113期(2020年4月10日)	8,962	10	△2.5	171.46	△2.3	97.4	—	9,242
114期(2020年5月11日)	9,037	10	0.9	173.21	1.0	96.4	—	9,267

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 参考指数は、ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合：国際機関債インデックス（円ヘッジベース）です。

ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合：国際機関債インデックスとは、ブルームバーグが算出する世界の投資適格国際機関債の値動きを表す指数です。

ブルームバーグ（BLOOMBERG）は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー（Bloomberg Finance L.P.）の商標およびサービスマークです。バークレイズ（BARCLAYS）は、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシー（Barclays Bank Plc）の商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックス（BLOOMBERG BARCLAYS INDICES）に対する一切の独占的権利を有しています。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準価額		（参考指数） ブルームバーグ・バークレイズ・ グローバル総合： 国際機関債インデックス （円ヘッジベース）		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		円	騰落率	騰落率	騰落率		
第109期	(期首) 2019年11月11日	8,945	—	169.27	—	95.4	—
	11月末	8,993	0.5	170.17	0.5	96.0	—
	(期末) 2019年12月10日	8,957	0.1	169.59	0.2	95.9	—
第110期	(期首) 2019年12月10日	8,947	—	169.59	—	95.9	—
	12月末	8,919	△0.3	168.62	△0.6	98.0	—
	(期末) 2020年1月10日	8,920	△0.3	169.32	△0.2	97.9	—
第111期	(期首) 2020年1月10日	8,910	—	169.32	—	97.9	—
	1月末	9,022	1.3	171.77	1.4	97.8	—
	(期末) 2020年2月10日	9,009	1.1	171.53	1.3	97.0	—
第112期	(期首) 2020年2月10日	8,999	—	171.53	—	97.0	—
	2月末	9,077	0.9	173.65	1.2	97.2	—
	(期末) 2020年3月10日	9,212	2.4	175.50	2.3	94.5	—
第113期	(期首) 2020年3月10日	9,202	—	175.50	—	94.5	—
	3月末	9,004	△2.2	171.44	△2.3	98.0	—
	(期末) 2020年4月10日	8,972	△2.5	171.46	△2.3	97.4	—
第114期	(期首) 2020年4月10日	8,962	—	171.46	—	97.4	—
	4月末	9,014	0.6	173.35	1.1	95.9	—
	(期末) 2020年5月11日	9,047	0.9	173.21	1.0	96.4	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第109期～第114期：2019年11月12日～2020年5月11日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第109期首	8,945円
第114期末	9,037円
既払分配金	60円
騰落率	1.7%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ1.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

## 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

保有債券の利回りが低下したこと、保有債券の利息収入を得られたことなどが基準価額の上昇要因となりました。

### 下落要因

保有する外貨建資産に対し外貨売り・円買いの為替ヘッジを行ったことによりヘッジコストが生じたことなどが基準価額の下落要因となりました。

第109期～第114期：2019年11月12日～2020年5月11日

## 投資環境について

### ▶ 債券市況

#### 主要先進国の長期金利は低下しました。

米国債券市場では、当作成期首から2020年1月中旬にかけて長期金利は横ばい圏で推移し、その後は新型コロナウイルスの拡散により世界経済の減速懸念が高まり、投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどから、低下に転じました。3月には、臨時の米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催され、政策金利の誘導目標レンジの大幅な引き下げが決定されたことや、国債等の買い取りを無制限にすることが発表されたことなどが一段の金利低下を促す要因となり、当作成期を通じてみると長期金利は大幅に低下しました。

ユーロ圏債券市場では、当作成期首から2020年1月中旬にかけてドイツの長期金利は横ばい圏で推移し、その後は新型コロナウイルスの拡散による世界経済への影響が懸念され、低下に転じました。3月中旬にかけては、世界的に保有資産の資金化の動きが強まったことや、大規模

な財政拡大による国債の需給悪化が懸念されたことなどから、ドイツの長期金利が一転上昇する場面が見られました。しかし、その後は、経済指標の悪化や原油価格の下落などが金利低下要因となり、当作成期を通じてみるとドイツの長期金利は低下しました。

豪州債券市場では、欧米市場と同様、当作成期首から2020年1月中旬にかけて長期金利は横ばい圏で推移し、その後は新型コロナウイルスの拡散による世界経済への影響が懸念され、低下に転じました。3月中旬にかけては、新型コロナウイルスが豪州で拡散され、投資家のリスクセンチメントが急激に悪化する中、豪州債券が売られ長期金利が上昇する場面が見られました。しかし、豪州連邦準備銀行（RBA）が臨時政策決定会合を開き、月初の定例会合に続く追加利下げを実施した他、国債買入れなどの非伝統的な金融政策を導入したことなどから市場は落ち着きを取り戻し、当作成期を通じてみると長期金利は低下しました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

主要先進国通貨建の国際機関債を主要投資対象とし、国際機関債の組入比率は高位を保ちました。また、債券市場における流動性の確

保およびデュレーション調整等の観点から、米国債などの国債にも一部投資を行いました。

各通貨の組入比率は、参照金利（為替ヘッジコスト控除後の金利水準）や債券市場の流動性などを基に決定しました。その結果、ユーロ、米ドルなどの通貨の組入比率を高めとしました。

ポートフォリオでは、最上級格付であるAAA格相当の債券を中心に組み入れを行いました。

デュレーションについては、当作成期の初め

は6.4でしたが、当作成期末は6.3となりました。

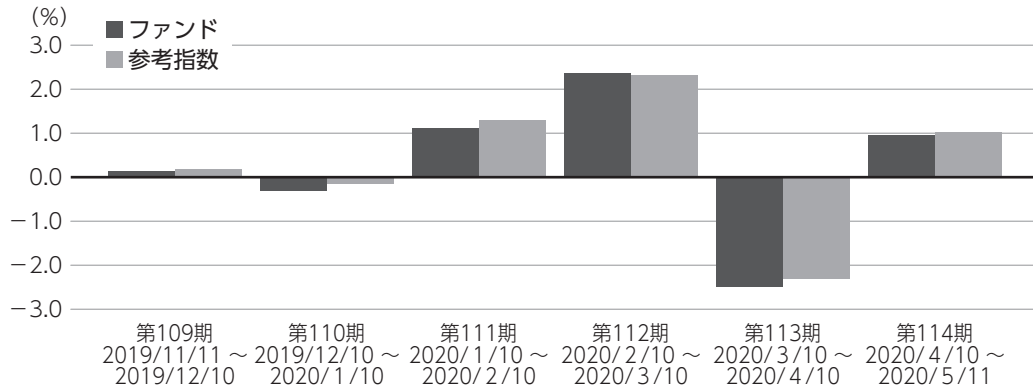
※デュレーションとは、「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかる運用を行いました。

第109期～第114期：2019/11/12～2020/5/11

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合：国際機関債インデックス（円ヘッジベース）です。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第109期 2019年11月12日~ 2019年12月10日	第110期 2019年12月11日~ 2020年1月10日	第111期 2020年1月11日~ 2020年2月10日	第112期 2020年2月11日~ 2020年3月10日	第113期 2020年3月11日~ 2020年4月10日	第114期 2020年4月11日~ 2020年5月11日
当期分配金 （対基準価額比率）	10 (0.112%)	10 (0.112%)	10 (0.111%)	10 (0.109%)	10 (0.111%)	10 (0.111%)
当期の収益	8	8	10	10	8	10
当期の収益以外	1	1	-	-	1	-
翌期繰越分配対象額	194	193	195	246	244	247

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

引き続き、主要先進国通貨建の国際機関債を主要投資対象とし、流動性・投資環境等を考慮し、一部、主要先進国の自国通貨建の国債に投資するなどして、安定したインカムゲインの確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行う方針です。

各通貨の組入比率は、参照金利（為替ヘッジコスト控除後金利水準）や債券市場の流動性等を基に決定する方針です。

ポートフォリオでは、引き続き、最上級格付であるA A A格相当の債券を中心に組み入れを行う方針です。

外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。



2019年11月12日～2020年5月11日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第109期～第114期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	26	0.290	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(12)	(0.137)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(12)	(0.137)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.008	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.006)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	27	0.298	

作成期中の平均基準価額は、8,988円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

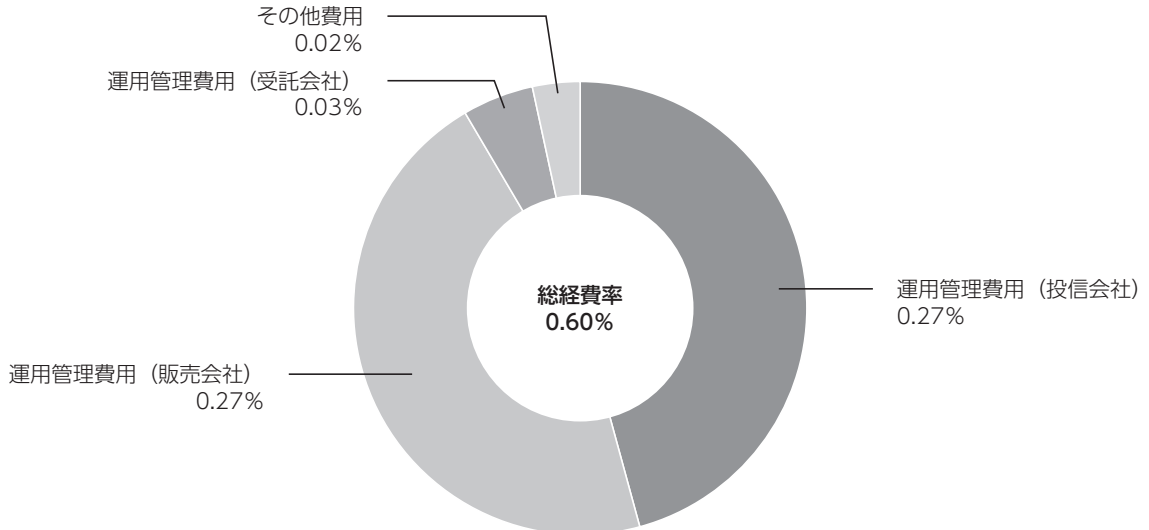
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.60%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年11月12日～2020年5月11日)

## 公社債

			第109期～第114期	
			買付額	売付額
外国	カナダ	特殊債券	千カナダドル —	千カナダドル 2,291
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	国際機関	特殊債券	4,874	12,531
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル —	千オーストラリアドル 1,912

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年11月12日～2020年5月11日)

## 利害関係人との取引状況

区分	第109期～第114期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	9,016	93	1.0	17,886	2,331	13.0
為替直物取引	20,371	3,518	17.3	11,606	1,309	11.3

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○組入資産の明細

(2020年5月11日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第114期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 17,000	千アメリカドル 18,783	千円 2,008,909	% 21.7	% —	% 7.3	% 14.4	% —
カナダ	千カナダドル 5,000	千カナダドル 5,981	459,039	5.0	—	5.0	—	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
国際機関	44,800	48,959	5,679,330	61.3	—	57.0	4.3	—
イギリス	千イギリスポンド 700	千イギリスポンド 922	122,575	1.3	—	1.3	—	—
スウェーデン	千スウェーデンクローネ 20,000	千スウェーデンクローネ 21,795	238,004	2.6	—	—	2.6	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 5,500	千オーストラリアドル 6,147	429,597	4.6	—	—	4.6	—
合 計	—	—	8,937,456	96.4	—	70.6	25.9	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第114期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	国債証券	2.625 T-NOTE 290215	2.625	4,000	4,680	500,526	2029/2/15
	特殊債券	2.25 EIB 220815	2.25	1,500	1,566	167,490	2022/8/15
		2.5 IBRD 250729	2.5	1,500	1,649	176,393	2025/7/29
		2.5 INTL BK RECON 241125	2.5	10,000	10,888	1,164,499	2024/11/25
小		計				2,008,909	
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
	特殊債券	4.4 IADB 260126	4.4	5,000	5,981	459,039	2026/1/26
小		計				459,039	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
国際機関	特殊債券	0.125 EIB 250415	0.125	500	513	59,528	2025/4/15
		0.25 IBRD 290521	0.25	7,000	7,200	835,237	2029/5/21
		0.625 EIB 290122	0.625	6,500	7,005	812,626	2029/1/22
		0.75 EURO STABI 280905	0.75	8,000	8,616	999,571	2028/9/5
		0.875 EFSF 270726	0.875	4,500	4,867	564,617	2027/7/26
		0.95 EFSF 280214	0.95	8,000	8,724	1,012,043	2028/2/14
		2.75 EIB 250915	2.75	7,800	9,124	1,058,467	2025/9/15
		3 EIB 220928	3.0	500	541	62,813	2022/9/28
		4.125 EIB 240415	4.125	2,000	2,365	274,426	2024/4/15
小		計				5,679,330	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	1.75 GILT 490122	1.75	700	922	122,575	2049/1/22
小		計				122,575	
スウェーデン				千スウェーデンクローネ	千スウェーデンクローネ		
	特殊債券	2.75 EIB 231113	2.75	20,000	21,795	238,004	2023/11/13
小		計				238,004	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	特殊債券	4.25 INTL FINANCE 230821	4.25	5,500	6,147	429,597	2023/8/21
小		計				429,597	
合		計				8,937,456	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

（2020年5月11日現在）

項 目	第114期末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 8,937,456	% 96.1
コール・ローン等、その他	362,690	3.9
投資信託財産総額	9,300,146	100.0

（注）作成期末における外貨建純資産（9,014,371千円）の投資信託財産総額（9,300,146千円）に対する比率は96.9%です。

（注）外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=106.95円	1 カナダドル=76.74円	1 ユーロ=116.00円	1 イギリスポンド=132.85円
1 スウェーデンクローネ=10.92円	1 オーストラリアドル=69.88円		

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末	第113期末	第114期末
	2019年12月10日現在	2020年1月10日現在	2020年2月10日現在	2020年3月10日現在	2020年4月10日現在	2020年5月11日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	22,392,322,863	21,043,802,897	20,995,083,117	20,746,689,510	18,327,718,150	18,072,439,347
コール・ローン等	463,536,420	279,554,833	265,212,031	176,233,828	245,145,433	198,698,833
公社債(評価額)	10,333,213,416	10,421,878,749	10,226,072,525	9,709,498,312	9,003,021,640	8,937,456,493
未収入金	11,538,480,496	10,268,993,240	10,433,433,240	10,808,770,480	9,015,871,260	8,870,143,390
未収利息	52,201,825	68,029,476	65,399,184	46,451,418	57,518,058	59,588,898
前払費用	1,753,949	1,772,945	922,080	1,227,900	1,238,553	1,211,503
その他未収収益	3,136,757	3,573,654	4,044,057	4,507,572	4,923,206	5,340,230
(B) 負債	11,616,301,414	10,395,676,395	10,455,647,821	10,477,460,970	9,085,698,553	8,805,036,124
未払金	11,597,147,776	10,377,300,700	10,425,341,580	10,458,397,370	9,070,341,500	8,780,054,600
未払収益分配金	12,044,079	11,950,948	11,712,116	11,159,515	10,312,173	10,255,379
未払解約金	2,059,826	1,097,500	13,299,129	3,031,272	299,999	10,098,402
未払信託報酬	5,011,882	5,287,086	5,255,282	4,836,057	4,709,254	4,592,983
未払利息	34	266	61	263	97	105
その他未払費用	37,817	39,895	39,653	36,493	35,530	34,655
(C) 純資産総額(A-B)	10,776,021,449	10,648,126,502	10,539,435,296	10,269,228,540	9,242,019,597	9,267,403,223
元本	12,044,079,988	11,950,948,962	11,712,116,492	11,159,515,438	10,312,173,363	10,255,379,044
次期繰越損益金	△ 1,268,058,539	△ 1,302,822,460	△ 1,172,681,196	△ 890,286,898	△ 1,070,153,766	△ 987,975,821
(D) 受益権総口数	12,044,079,988口	11,950,948,962口	11,712,116,492口	11,159,515,438口	10,312,173,363口	10,255,379,044口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,947円	8,910円	8,999円	9,202円	8,962円	9,037円

## ○損益の状況

項 目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
	2019年11月12日～ 2019年12月10日	2019年12月11日～ 2020年1月10日	2020年1月11日～ 2020年2月10日	2020年2月11日～ 2020年3月10日	2020年3月11日～ 2020年4月10日	2020年4月11日～ 2020年5月11日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	14,307,640	15,567,237	15,134,489	12,855,640	13,429,372	13,071,384
受取利息	13,873,818	15,161,829	14,811,622	12,617,397	13,154,237	12,691,133
その他収益金	439,954	417,037	325,536	240,526	281,994	395,930
支払利息	△ 6,132	△ 11,629	△ 2,669	△ 2,283	△ 6,859	△ 15,679
(B) 有価証券売買損益	5,817,113	△ 42,821,696	105,928,495	230,260,070	△ 245,422,304	78,164,828
売買益	45,551,609	195,606,681	236,718,070	605,145,100	438,372,786	316,064,808
売買損	△ 39,734,496	△ 238,428,377	△ 130,789,575	△ 374,885,030	△ 683,795,090	△ 237,899,980
(C) 信託報酬等	△ 5,173,546	△ 5,326,981	△ 5,508,749	△ 4,980,924	△ 4,838,247	△ 4,726,448
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	14,951,207	△ 32,581,440	115,554,235	238,134,786	△ 236,831,179	86,509,764
(E) 前期繰越損益金	△ 215,690,493	△ 210,784,119	△ 248,645,915	△ 137,731,023	82,309,161	△ 163,644,473
(F) 追加信託差損益金	△ 1,055,275,174	△ 1,047,505,953	△ 1,027,877,400	△ 979,531,146	△ 905,319,575	△ 900,585,733
(配当等相当額)	( 200,384,968)	( 198,899,899)	( 195,142,725)	( 185,998,258)	( 172,043,570)	( 171,237,480)
(売買損益相当額)	(△ 1,255,660,142)	(△ 1,246,405,852)	(△ 1,223,020,125)	(△ 1,165,529,404)	(△ 1,077,363,145)	(△ 1,071,823,213)
(G) 計 (D+E+F)	△ 1,256,014,460	△ 1,290,871,512	△ 1,160,969,080	△ 879,127,383	△ 1,059,841,593	△ 977,720,442
(H) 収益分配金	△ 12,044,079	△ 11,950,948	△ 11,712,116	△ 11,159,515	△ 10,312,173	△ 10,255,379
次期繰越損益金 (G+H)	△ 1,268,058,539	△ 1,302,822,460	△ 1,172,681,196	△ 890,286,898	△ 1,070,153,766	△ 987,975,821
追加信託差損益金	△ 1,055,275,174	△ 1,047,505,953	△ 1,027,877,400	△ 979,531,146	△ 905,319,575	△ 900,585,733
(配当等相当額)	( 200,384,968)	( 198,899,899)	( 195,142,725)	( 185,998,258)	( 172,043,570)	( 171,237,480)
(売買損益相当額)	(△ 1,255,660,142)	(△ 1,246,405,852)	(△ 1,223,020,125)	(△ 1,165,529,404)	(△ 1,077,363,145)	(△ 1,071,823,213)
分配準備積立金	34,074,566	32,043,719	33,940,301	89,244,248	80,588,113	82,145,162
繰越損益金	△ 246,857,931	△ 287,360,226	△ 178,744,097	-	△ 245,422,304	△ 169,535,250

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 12,113,401,619円  
 作成期中追加設定元本額 182,463,252円  
 作成期中一部解約元本額 2,040,485,827円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.9037円です。
- ② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は987,975,821円です。
- ③ 分配金の計算過程

項 目	2019年11月12日～ 2019年12月10日	2019年12月11日～ 2020年1月10日	2020年1月11日～ 2020年2月10日	2020年2月11日～ 2020年3月10日	2020年3月11日～ 2020年4月10日	2020年4月11日～ 2020年5月11日
費用控除後の配当等収益額	10,629,766円	10,240,256円	14,445,895円	12,592,149円	8,591,125円	12,394,084円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円	-円	-円	55,529,091円	-円	-円
収益調整金額	200,384,968円	198,899,899円	195,142,725円	185,998,258円	172,043,570円	171,237,480円
分配準備積立金額	35,488,879円	33,754,411円	31,206,522円	32,282,523円	82,309,161円	80,006,457円
当ファンドの分配対象収益額	246,503,613円	242,894,566円	240,795,142円	286,402,021円	262,943,856円	263,638,021円
1万口当たり収益分配対象額	204円	203円	205円	256円	254円	257円
1万口当たり分配金額	10円	10円	10円	10円	10円	10円
収益分配金金額	12,044,079円	11,950,948円	11,712,116円	11,159,515円	10,312,173円	10,255,379円

## ○分配金のお知らせ

	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
1万口当たり分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円	10円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

## ◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・2020年1月1日以降の分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。